

卵の変化と誕生の様子

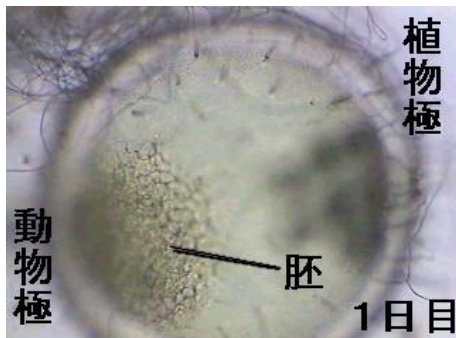
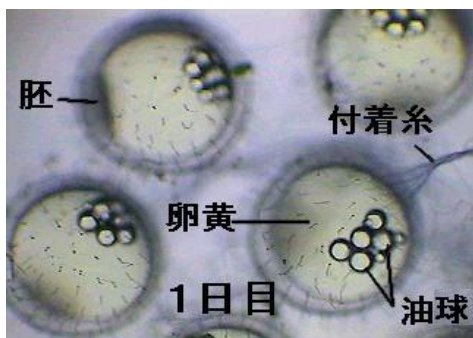
1 メダカの受精卵の変化

卵の主な変化(水温が約 23 ℃の場合)

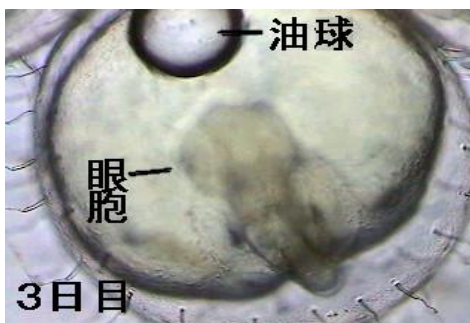
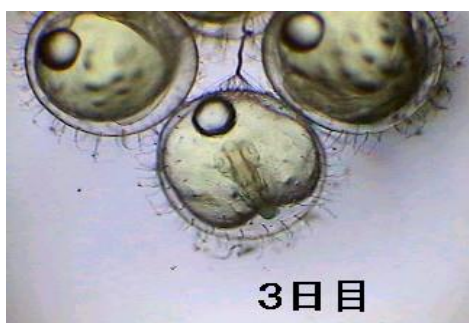
日数	主な特徴
1日目	胚盤の反対側に油球がたまる。
2日目	眼胞が形成される。
3日目	心臓の拍動が始まる。
4日目	血液循環が始まる。
5日目	胸びれができる。
8日目	眼球や口を動かす。
9日目	体の向きを変える。
10日目	動きが活発になる。

2 メダカの発生の様子(魚類の卵割様式は盤割)

・動物極に原形質が集まりやがて胚盤・胚体となる。反対側の植物極には油球が集まり、やがて1つになる。



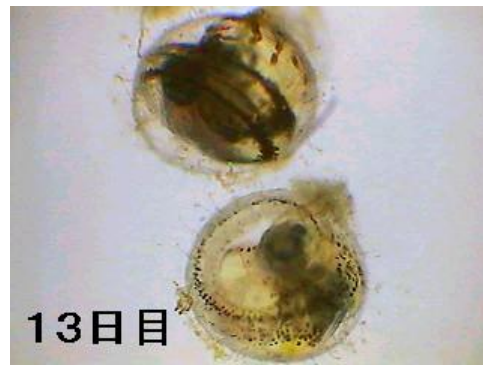
・胚がはっきりしてくる。眼の分化が始まる。油球が1つにまとまる。



・血流が見られるようになる。眼がはっきりわかるようになる。



- ・中で動き始める。



[□\[心臓の動きと血流の動画\]](#)

- ・中で頻繁に動くようになると、いよいよふ化が始まる。

3 メダカ誕生の瞬間

[□\[メダカが発生する瞬間の動画\]](#)